

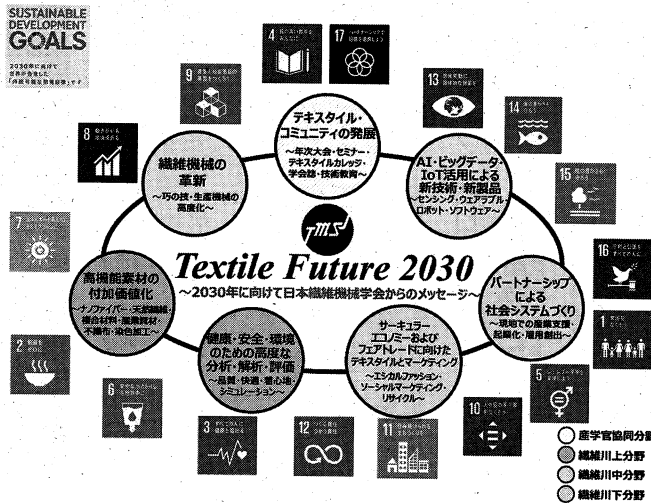
# 日本繊維機械学会

## 学会活動もSDGsを

日本繊維機械学会は「持続可能な開発目標」(SDGs)を学会活動に積極的に組み込む。2030年までにSDGsを実現に向けたメッセージを発信する。繊維分野の学会ではSDGsを活動に取り入れる初の試みとなる。

同学会では、活動の内容や目的をSDGsの目標に合わせて整理。それぞれ目的を「テキスタイル」「繊維機械の革新」「高機能素材の付加価値化」「健康・安全・環境のための高度な分析・解析・評価」「サーキュラーエコノミーおよびフェアトレードに向けたテキスタイルとマーケティング」「パートナーシップによる社会システムづくり」の7カテゴリーに分類した。これらをそれぞれSDGsとして掲げる目標

会活動を通じたSDGsの達成を目指す。



このほど開催した日本繊維機械学会年次大会で構想を披露

### 日本繊維機械学会賞

#### 技術賞にアシックス、クラブオなど

今後、同様のSDGs試験場なども連携し、に向けた取り組みを進め、大学の繊維企業、公設を進める。

日本繊維機械学会は「持続可能な開発目標」(SDGs)のほど、優れた研究や開発を賞する。日本繊維機械学会賞を発表した。技術賞にはアシックス、クラブオなどが選ばれた。各賞の受賞者と受賞内容は次の通り(敬称略)。

【論文賞】導電性編物を用いたウェアラブルセンサーによる人体動作の測定と行動識別(金沢工業大学・藤岡潤、信州大学・金井博幸)

同・吉田善洋、同・伊勢大成、金沢大学・関啓明

【技術賞】低強度運動用ブラの開発(アシックス・瀧井靖歩、同・森洋人、同・角奈那子)、「暑熱環境下での作業リスク管理システムの開発」(クラブオ・藤尾直範、同・原泰明、同・大月昌也、同・松雪遼、大阪大学・中江悟司、同・清野健、信州大学・金井博幸)

【学術奨励賞】運動効果促進ウェアを構成するテープ状編物が筋活動に及ぼす効果(信州大学・金井博幸)

【学術奨励賞】非圧電ポリマを用いて作製した電界紡糸ファイバ膜の圧電挙動メカニズム(京都工業繊維大学・北山流星)、「分岐・合流組紐作成時のマルチプレイダにおける設計因子」(金沢大学・坂西映輝)、「パラ系アラミドエアロゲル繊維の形成とその超臨界乾燥によるラレキシブルエアロゲルの調製」(福井大学・永濱寿章)、「動作時の皮膚挙動に着目した機能性スポーツブラの開発」(アシックス・瀧井靖歩)、「酸化」マグネシウムナノ繊維の作製と絶縁シートへの応用(福井大学・高橋和也)、「高速回転するローラ周りの流れ場と風損低減」(金沢大学・渡邊拓時)

#### 豊田鐵郎氏が名誉会員に

日本繊維機械学会は優れた業績と学会への貢献が多大な会員をフェローに認定している。このほど、新たに金沢大学の喜成年泰氏とAOKIの柴田清弘氏をフェローに認定した。また、同学会の副会長などを歴任した豊田自動織機の豊田鐵郎会長を名誉会員とした。